

6次産業化の推進と 自動運転バスの実証実験

令和4年10月6日 埼玉県加須市(6次産業)

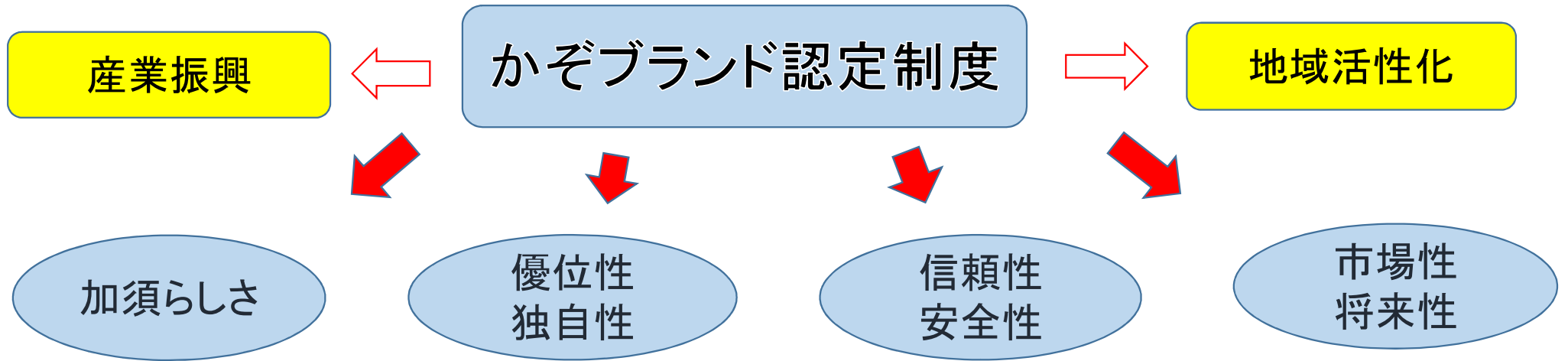
令和4年10月7日 茨城県境町(自動運転バス)

市民建設委員会

永野雅則、宮田康之、ごとうみき、白井えり子

武田治敏、福安淳也、渡邊明子

6次産業化 加須市



審査の結果、「かぞブランド」70品目を認定
半分以上のブランドがふるさと納税の返礼品に選定
ブランドマークの使用許可

ブランドを作ることによって、産業の振興と地域活性化を促進することに貢献している

加須市の認定ブランド品

一次産品
米、野菜、果物

加工品
うどん、日本酒
スイーツなど

工芸品
鯉のぼり
ストール

工業製品
剣道防具
折りたたみ杖

飲食店
冷汁うどん
香り豚シューマイ



全国初の取り組み

自動運転バス 境町

- ・フランス製 NAVYA ARMA(ナビヤ・アルマ)を3台導入
(世界で一番の走行実績で狭い道にも対応出来る)
- ・2020年11月26日から町内での走行を開始
- ・町の中心部の主要拠点を効率よく循環
- ・運営費は補助金とふるさと納税半々で持ち出し0円

高齢者の免許返納

駐車違反の減少

通学路の低速走行

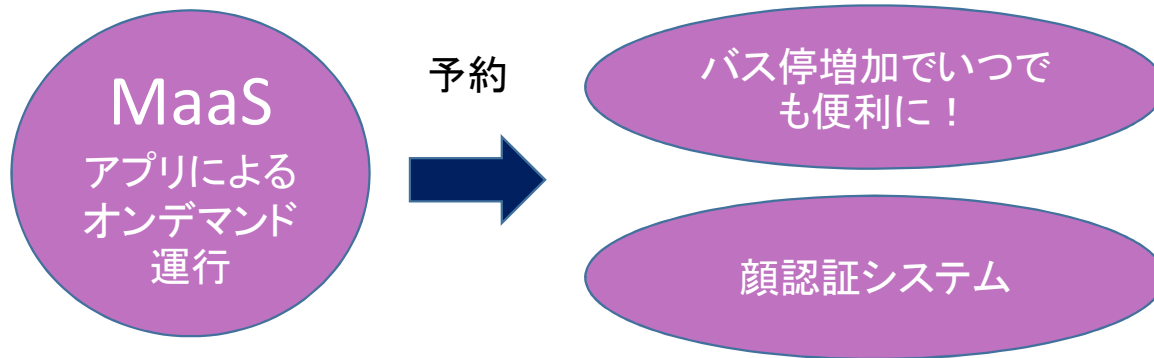
思わぬ効果も出ている



視察の様子



自動運転バスの未来像は？



誰もが生活の足に困らない町